

平成 31 年度（2019 年度）事業計画書

自 平成 31 年（2019 年）4 月 1 日

至 平成 32 年（2020 年）3 月 31 日

PMF 2019 概要

1. 開催期間 2019 年 7 月 6 日（土）～8 月 2 日（金） 28 日間
2. 開催地 札幌市、苫小牧市、函館市、江別市、幕別町、奈井江町、
東京都、川崎市
3. 公演数 約 40 公演
4. 参加アーティスト
- 芸術監督 ワレリー・ゲルギエフ
- 第 3 代芸術監督 クリストフ・エッセンバッハ
- 首席指揮者 マリン・オルソップ
- 指揮者・ホルン ラデク・バボラーク
- 指揮者 クリスチャン・ナップ
ダニエル・マツカワ

PMF オーケストラ共演ソリスト

第 16 回チャイコフスキー国際コンクール・木管楽器部門優勝者

- ゲストアーティスト 小山 実稚恵（ピアノ）＜GALA＞
九嶋 香奈枝（司会／ソプラノ）＜リンクアップ・コンサート＞
穴澤 彩佳（ソプラノ）＜リンクアップ・コンサート＞
岡元 敦司（バリトン）＜リンクアップ・コンサート＞

- オーケストラ PMF オーケストラ
札幌交響楽団（PMF ホストシティ・オーケストラ）

教授陣 (*はPMF初参加を表す)

◆ヴォーカル・アカデミー教授

ガブリエッラ・トゥッチ (ソプラノ)

◆PMFヨーロッパ (会期前半)

ヴァイオリン	ライナー・キュッヒル (前ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団コンサートマスター)
ヴァイオリン	ダニエル・フロシャウアー (ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団)
ヴィオラ	ハインツ・コル (前ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団)
チェロ	シュテファン・ガルトマイヤー* (ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団)
コントラバス	ミヒャエル・ブラーデラー (ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団)
フルート	アンドレアス・ブラウ (前ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団首席奏者)
オーボエ	アンドレアス・ヴィットマン* (ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団)
クラリネット	アレクサンダー・バーダー (ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団)
ファゴット	シュテファン・シュヴァイゲルト (ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団)
ホルン	サラ・ウィリス (ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団)
トランペット	タマーシュ・ヴェレンツェイ (ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団)
トロンボーン	イエスパー・ブスク・ソレンセン (ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団)
パーカッション	フランツ・シンドルベック* (ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団)
ハープ	ラディスラフ・パップ (ウィーン国立歌劇場)

◆PMFアメリカ (会期後半)

ヴァイオリン	デイヴィッド・チャン (メトロポリタン歌劇場管弦楽団)
ヴァイオリン	スティーヴン・ローズ (クリーヴランド管弦楽団)
ヴィオラ	ダニエル・フォスター (ワシントン・ナショナル交響楽団)
チェロ	ラファエル・フィゲロア (メトロポリタン歌劇場管弦楽団)
コントラバス	アレクサンダー・ハンナ (シカゴ交響楽団)
フルート	ステファン・ラグナー・ホスクルドソン (シカゴ交響楽団)
オーボエ	ユージン・イズトフ (サンフランシスコ交響楽団)
クラリネット	スティーヴン・ウィリアムソン (シカゴ交響楽団)
ファゴット	ダニエル・マツカワ (フィラデルフィア管弦楽団)
ホルン	ウィリアム・カバレロ (ピッツバーグ交響楽団)
トランペット	マーク J. イノウエ (サンフランシスコ交響楽団)
トロンボーン	デンソン・ポール・ポラード (メトロポリタン歌劇場管弦楽団)
ティンパニ	デイヴィッド・ハーバート (シカゴ交響楽団)
パーカッション	シンシア・イエ (シカゴ交響楽団)
ハープ	安楽 真理子 (メトロポリタン歌劇場管弦楽団)

◆PMFピアニスト 佐久間 晃子
岩渕 慶子

PMFプレミアム・オーケストラ参加修了生 [PMFアカデミー参加年]

ヴァイオリン	オルソルヤ・コルチョラン [PMF 1994, 96] 富田 麻衣子 (札幌交響楽団) [PMF 2006, 07]
ヴィオラ	物部 憲一 (札幌交響楽団) [PMF 1993]
チェロ	小野木 遼 (札幌交響楽団) [PMF 2007]
コントラバス	安田 修平 (東京交響楽団) [PMF 2000]
フルート	野津 臣貴博 (大阪フィルハーモニー交響楽団) [PMF 1990, 91]
クラリネット	ミリアム・キャリアー (イル・ド・フランス国立管弦楽団) [PMF 2003]
ホルン	ゲルゲリー・シュガー (ウィーン交響楽団) [PMF 1994, 96, 97] アンドレイ・ズスト (ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団) [PMF 2007, 09]
トランペット	レイモンド・リッコミーニ (メトロポリタン歌劇場管弦楽団) [PMF 1993] 佐藤 友紀 (東京交響楽団) [PMF 2000]
トロンボーン	マルコス・ガルシア・ファケーロ (マドリード王立劇場管弦楽団) [PMF 2013, 14] バイロン・フルチャー (フィルハーモニア管弦楽団) [PMF 1990] 清水 真弓 (バーデン=バーデン・フライブルク SWR 交響楽団) [PMF 2006, 07] ブライアン・ウェンデル (バンクーバー交響楽団) [PMF 2016]

合唱団 PMFプレミアム合唱団
HBC少年少女合唱団

アカデミー PMFオーケストラ・アカデミー
PMFヴォーカル・アカデミー

PMF 2019 アカデミー教育

1. オーディション

インターネットのオーディション専用ポータルサイトを利用したレコーディングオーディションを実施し、合計で67カ国・地域から1,324名の応募があった。

2. アカデミー教育

① オーケストラ・アカデミー（96名）

PMF創設者レナード・バーンスタインの基本的理念であるオーケストラ・アカデミー教育を引き続き実施する。芸術監督ワレリー・ゲルギエフや第3代芸術監督クリストフ・エッシェンバッハ、首席指揮者マリン・オルソップらが指揮するほか、PMFヨーロッパ、PMFアメリカの教授陣がアカデミーの指導にあたり、2019年は主に3つのオーケストラプログラム（A、B、C）の教育を行う。コンサートツアーを含め10回のオーケストラ演奏会のほか、室内楽演奏会等に出演し、教育の成果を発表する。

② ヴォーカル・アカデミー（4名）

ローマ出身のソプラノ歌手ガブリエッラ・トゥッチから、オペラアリア、歌曲を中心に演奏・表現・発声・発語の指導を受け、教育の成果をPMF GALAコンサートとピクニックコンサートで発表する。

3. アジア・フェローシップ・プログラム（4名）

アカデミー参加者の増加が期待される東南アジア圏でクラシック音楽を学ぶ若手音楽家に、PMFでの経験や教育の機会を提供するプログラム。音楽大学から推薦を受けた若手音楽家が、PMFオーケストラリハーサルの見学や演奏会の聴講の他、PMF教授陣によるコーチングなどを受ける。

PMF 2019 演奏会

○2019 年は PMF 30 回を記念して、以下の記念事業に取り組む。

- ・第 3 代 PMF 芸術監督として創設期の PMF を支えたクリストフ・エッセンバッハの指揮のもと、世界各地で活躍する PMF 修了生約 15 名と、PMF オーケストラ、PMF アメリカ教授陣で編成される約 120 人の合同オーケストラが、この公演のために結成される PMF プレミアム合唱団とともにマーラーの交響曲第 8 番を演奏する。
- ・1990 年第 1 回 PMF にバーンスタインとともに参加した女性指揮者の草分けマリン・オルソップ指揮による演奏会を、ピクニックコンサート、G A L A コンサート、苫小牧公演で開催する。
- ・2018 年 10 月にオープンした「札幌文化芸術劇場 hitaru」にて、PMF 30 回を記念したスペシャル・コンサートを実施する。
- ・チャイコフスキー国際コンクールで新設される木管部門の優勝者をソリストとして招き、PMF 2019 の集大成として芸術監督ワレリー・ゲルギエフが選曲したショスタコーヴィチの交響曲第 4 番（PMF 初演奏）などを演奏する公演を、札幌コンサートホール Kitara での道内最終公演を行った後、東京、川崎にて開催する。
- ・次の世代に引き継ぎたい北海道の宝物として北海道遺産に選定された PMF の認知度向上を目指し、PMF 演奏会の開催は初となる幕別町や 24 年ぶりの開催となる江別市など、道内地方都市での演奏会を充実する。

○上記を含めた PMF 2019 の主なコンサートスケジュールは次のとおり。

- ・7 月 4 日（木） 〈PMF 2019 プレ公演〉
PMF ウィーン演奏会（札幌コンサートホール *Kitara* 小ホール）
- ・7 月 6 日（土） PMF 2019 オープニング・コンサート（札幌芸術の森・野外ステージ）
ヤナーチェク：シンフォニエッタ ほか
- ・7 月 9 日（火） PMF ホストシティ・オーケストラ演奏会（札幌コンサートホール *Kitara*）
- ・7 月 10 日（水） PMF ウィーン演奏会（札幌コンサートホール *Kitara* 小ホール）
- ・7 月 11 日（木） PMF ベルリン演奏会（札幌コンサートホール *Kitara* 小ホール）
- ・7 月 12 日（金） PMF ベルリン演奏会（札幌コンサートホール *Kitara* 小ホール）
- ・7 月 13 日（土） ピクニックコンサート（PMF オーケストラほか）（札幌芸術の森・野外ステージ）
- ・7 月 14 日（日） PMF G A L A コンサート（PMF オーケストラほか）（札幌コンサートホール *Kitara*）
プロコフィエフ：古典交響曲 ニ長調 作品 25
R. シュトラウス：組曲「ばらの騎士」作品 59 ほか
- ・7 月 15 日（月） PMF オーケストラ苫小牧公演（苫小牧市民会館）

- ・7月16日（火） PMF ヨーロッパ・アンサンブル函館公演（函館市芸術ホール）
- ・7月20日（土） PMF プレミアム・コンサート（札幌コンサートホール *Kitara*）
マーラー：交響曲 第8番 変ホ長調
- ・7月21日（日） PMF プレミアム・コンサート（札幌コンサートホール *Kitara*）
- ・7月23日（火） PMF リンクアップ・コンサート（札幌コンサートホール *Kitara*）
PMF アンサンブル江別公演（えぼあホール）
- ・7月24日（水） PMF アメリカ幕別公演（幕別町百年記念ホール）
- ・7月25日（木） PMF アンサンブル奈井江公演（奈井江町文化ホール）
- ・7月28日（日） PMF hitaru スペシャル・コンサート（札幌文化芸術劇場 hitaru）
- ・7月29日（月） PMF アメリカ演奏会（札幌コンサートホール *Kitara* 小ホール）
- ・7月31日（水） PMF オーケストラ演奏会（札幌コンサートホール *Kitara*）
ドビュッシー：牧神の午後への前奏曲
ショスタコーヴィチ：交響曲 第4番 ハ短調 作品43 ほか
- ・8月1日（木） PMF オーケストラ東京公演（サントリーホール）
- ・8月2日（金） PMF オーケストラ川崎公演（ミューザ川崎シンフォニーホール）

音楽普及のための取り組み

一般の人々が身近にクラシック音楽に触れることができる機会を提供することで、クラシック音楽の普及を図る。

2019年度は、昨年設置したPMF公開マスタークラス、ユース・ウイング席を引き続き実施するほか、ユース世代などを対象にオープンリハーサルを無償とするなど、若い世代への取り組みを一層充実させる。

1. PMFリンクアップ・コンサート

アメリカ・ニューヨークのカーネギーホールとの連携により、PMF2013において日本で初めて実施した、小学生向けの音楽教育プログラム。子どもたちが歌やリコーダー演奏でPMFオーケストラと共演する機会を設け、これまでにない一流の音楽との出会いの場を提供する。札幌市内の小学校6年生児童約700名が参加予定。

2. オープンリハーサル

札幌コンサートホール *Kitara* 等で行われるPMFオーケストラのゲネプロ（本番前の全体練習）やリハーサルなどの指導風景を公開する。今年度より、音楽関係者及び小学生から25歳（1994年生まれ）までの若い世代等を対象とし、無料で公開することとする。定員は1回につき200名。

3. PMF教育セミナー

音楽に関心を持つ人を対象として、首席指揮者マリン・オルソップがバーンスタインの教えや指揮者としての歩みなどについて講演するセミナーを開催する。

4. オーケストラ・吹奏楽訪問リハーサル

PMF教授陣が札幌市内及び近郊の中学校・高等学校のオーケストラ部及び吹奏楽部を訪問し、最高レベルの教育を提供する。

5. PMF公開マスタークラス

アカデミー生を指導するPMF教授陣が、北海道で音楽を学ぶ専攻生（ハープのみPMFアカデミー）を楽器・編成別に直接指導し、その様子を一般に公開する。ヴァイオリン、フルート、ファゴット、トランペット、トロンボーン、ハープ、木管五重奏、金管五重奏 計5日9講座を予定。

6. ユース・ウイング席・U25割引の設定

クラシック音楽を未来につなげるため、小学生から25歳（1994年生まれ）までの若い世代に、札幌コンサートホール Kitara 及び札幌文化芸術劇場 hitaru で開催するオーケストラ3公演において、オーケストラを一望できる「ユース・ウイング席」を無料で提供する。

また、U25割引（ピクニックコンサートは芝生自由席無料）を引き続き実施し、ユース世代がよりクラシック音楽に接しやすい環境を提供する。

7. 修了生によるミニ・コンサート

会期外においてクラシック音楽の普及やPMF事業の認知度を高めるため、メインスポンサー等の協力を得て多くの集客を望めるショッピングモールなどでミニ・コンサートを開催する。

また、札幌市の主催するプロジェクト「学校DEカルチャー」に参加し、小学校において、修了生によるミニ・コンサートを開催する。

（2018年度の修了生によるミニ・コンサート開催実績は45公演）